

認定司法書士を目指す方へ!

参加無料 予約不要

小山弘講師による無料公開セミナー開催!

テーマ 「2016年度『認定審査』対策および『第15回特別研修』履修に向けた心構え」

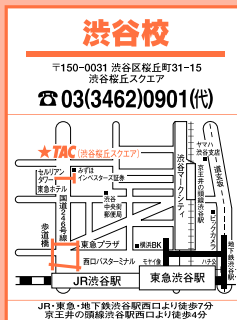
日時 10/24 (土) 14:00~15:00 会場 渋谷校

❖無料公開セミナーは、実施日の約1週間後よりインターネットでも視聴できます。

インターネットで視聴

Wセミナーホームページで動画配信しています。

<http://www.w-seminar.co.jp/> Wセミナー 検索



行政書士 司法書士の学習経験を活かして 行政書士資格も取ろう! 司法書士受験経験者パック

目指せ!
ダブルライセンス!
2016年
5月~7月開講予定

実務に活かせる! 行政書士と司法書士のダブルライセンス!

学習上の観点から...

TAC行政書士講座 小池 昌三 講師



司法書士試験でも重要な科目となる憲法・民法・商法の3科目は、行政書士試験でも試験全体の4割以上を占めます。また、問題の内容も条文・判例をベースとした基本問題が多く、司法書士試験の勉強で十分カバーできます。司法書士試験で培った憲法・民法・商法の知識をいかんなく発揮できれば、あとは、行政書士独特の行政法一般知識を勉強することで、行政書士試験に合格できるレベルまで一気に到達することが可能です。司法書士と行政書士を合わせて取得すれば、実務の幅も一気に膨らみます。この機会に、ぜひ行政書士試験に挑戦してみませんか?

実務上の観点から...



行政書士 田代 薫 先生

実務家の立場から相続手続業務を行う場合、相続人調査のための戸籍請求や金融機関への手続は行政書士が行います。ところが、相続財産の中に不動産があるケースというのが全体の半数程度あり、不動産登記手続は司法書士が行います。そのような関係から、相続業務を行う上で、行政書士と司法書士のダブルライセンスを取得している先生は、相続手続を一貫して行え、業務の幅が大変広がります。司法書士試験に合格されている方や受験経験のある方は、是非行政書士の資格取得も合わせて目指すことをお勧めします。

学習経験が大いに生きる!

司法書士等の法律資格学習経験のある方は、あと少し学習科目をプラスすれば行政書士の資格も狙えます!

行政書士試験科目	憲	民	行	商	基	一	●●●
資格名	法	法	法	法	学	識	政治・経済・社会 情報・通信・個人情報保護 文章理解 情報通信・個人情報保護
司法書士	済	済	学習必要	済	済	学習必要	

※...司法書士受験で既に学習済の科目です。

「司法書士受験経験者パック」のカリキュラム・開講日・受講料など詳細は2016年3月発行予定のチラシをご覧ください。

TAC各校

●札幌校 ●仙台校 ●水道橋校 ●新宿校 ●池袋校 ●渋谷校 ●八重洲校 ●立川校 ●中大駅前校 ●町田校 ●横浜校 ●大宮校 ●津田沼校 ●名古屋校 ●京都校 ●梅田校 ●なんば校 ●神戸校 ●広島校 ●福岡校

TAC提携校

●群馬校 ●松本校 ●富山校 ●金沢校 ●福山校 ●高松校 ●徳島校 ●小倉校 ●大分校 ●熊本校 ●宮崎校 ●鹿児島校 ●沖縄校

●資料請求・お問い合わせはこちらから

0120-509-117

携帯・PHS OK ※携帯電話、PHSからご利用になれます。受付時間 月~金 9:30~19:00 土・日・祝 9:30~18:00

Wセミナーホームページ ▶ <http://www.w-seminar.co.jp/> Wセミナー 検索

資格の学校
TAC

W セミナー
WASEDA

W セミナー 司法書士

簡裁訴訟代理等 能力認定審査対策講座

2016
年度

2015年度も的中!

👉 裁判事務のエキスパート!
小山弘講師の特別対策講座で
確実な認定へ!

認定審査対策講座(全16回)

過去問解説講座(全11回)
最新過去問解説講座(全1回)

模擬試験(全2回・解説講義あり)

👉 実務研修・認定審査対策として役立つオプション講座!

〈合格者向け〉弱点克服講座

活躍の場を広げるなら 【認定司法書士】を 目指そう!

W セミナー 受講生割引特典!
詳細はP6をご確認ください

W セミナー
WASEDA

SHIHO-SHOSHI LAWYER

WセミナーはTACのブランドです。
有効期限: 2016.05.31 245-0902-1006-18

2016年度

「簡裁訴訟代理等能力認定審査」対策講座

「簡裁訴訟代理等能力認定審査」対策を万全にする！

司法書士としての能力と、簡裁訴訟代理等能力認定審査（以下認定審査）に合格する能力との間にあるギャップは、日本司法書士会連合会が実施する特別研修のみで埋まるものではありません。

今回初めて特別研修を履修する方はもちろんのこと、すでに特別研修を経験したことのある既修了者の方も、Wセミナーが開講する『認定審査対策講座』、『過去問解説講座』、『最新過去問解説講座』、『模擬試験』で構成される小山弘講師の特別プログラムを受講することにより、自信をもって認定審査に臨むことができます。

本講座の
対象者

- ①2016年度（第15回）司法書士特別研修を履修予定の方
- ②過去に司法書士特別研修の課程を修了した方（既修了者）

ご注意 認定審査の受験にあたっては、特別研修を修了することが受験資格として必要となります。

担当講師からのメッセージ



こやま ひろし
小山 弘 講師
(司法書士・Wセミナー専任講師)

中上級コース『弱点克服講座（民訴・民執・民保・供託・書士法編）』をはじめ、『認定審査対策講座』など、民訴等科目を中心に講座を担当。実務では、裁判実務のエキスパートとして活躍中。実務経験をもとにした設例を用いた講義で、受験生の“考える力”を養い、合格へと導く。特別研修のチューターも担当。

司法書士特別研修（合計100時間）では、民法や商法をはじめとする実体法の基礎知識を前提に、民事訴訟のごく基礎的なことから学習します。すなわち、訴訟物や弁論主義といった基礎的な概念はもとより、要件事実（請求原因事実、抗弁事実、再抗弁事実等）の意味あるいは攻撃防御（主張、立証）の基本構造等を学習します。

また、研修終了後に実施される認定審査においても、これらの基礎的なことから理解しているかどうかが問われます。出題形式は事例問題で、解答形式は論述式です。したがって、必ずしも高度な知識は求められないものの、正確な基礎知識がないと審査の設問に的確に答えることは難しいといえるでしょう。司法書士試験においては、付焼刃がある程度までは通用したかもしれませんが、認定審査ではそうはいかないと受けとめるのが賢明です。

そこで、『認定審査対策講座』では、以上のとおりの研修及び審査に対応した講義を実施します。すなわち、研修及び審査で求められる必要最小限のことがら（プラスα）を平易に解説します。本講座を受講していただくことにより、特別研修が充実したものになり、また認定審査にも自信をもって臨むことができるでしょう。

平成27年度の認定審査（第14回）の合格率は、約65パーセントでした。この数年間の平均的な合格率です。今後も大きな変動はないでしょう。合格して当然の審査で落第するダメージは、想像以上に大きいはず。合格するためには、民事訴訟法の実力はいうに及ばず、簡裁代理権の範囲や司法書士倫理の問題もゆるがせにしないで、配点に目配りした取組方を心がけるべきでしょう。第15回特別研修を充実したものにし、かつ認定審査に必勝を期す皆さんの受講をお待ちしています。

「簡裁訴訟代理等能力認定審査」概要

受験資格

過去の司法書士特別研修の課程を修了した者（既修了者）、または第15回司法書士特別研修の履修者であり、研修課程を修了した者

審査の期日

例年6月 ※2015年度は6/7（日）13:00～15:00に実施

審査の内容

事実認定の手法に関する能力、立証活動に関する能力、弁論及び尋問技術に関する能力、訴訟代理人としての倫理に関する能力、その他簡裁訴訟代理等関係業務を行うのに必要な能力を習得したかどうかについて、記述式により行われます。

審査の結果発表

例年9月 ※2015年度は9/1（火）16:00に発表

認定率の推移

認定率は65%前後で推移していますが、60%を下回った年もあり、誰もが合格できる試験とは言えません。確固たる知識をもって認定審査に臨むことが必要になってきています。

	受験者数	認定者数	認定率
2009年度（第8回）	1,493名	895名	59.9%
2010年度（第9回）	1,531名	1,053名	68.8%
2011年度（第10回）	1,391名	917名	65.9%
2012年度（第11回）	1,259名	829名	65.8%
2013年度（第12回）	1,196名	830名	69.4%
2014年度（第13回）	1,062名	741名	69.8%
2015年度（第14回）	987名	649名	65.8%

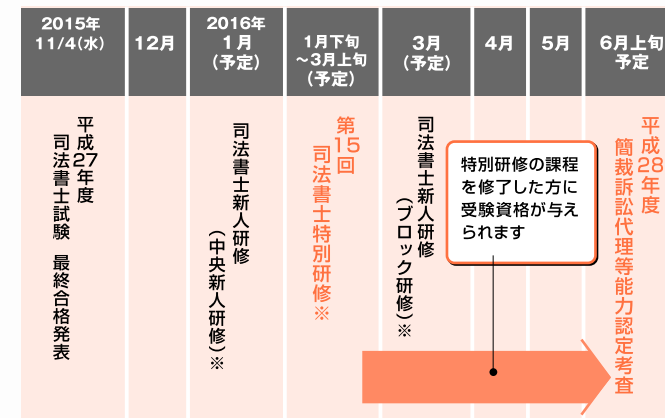
◎参考：法務省ホームページ

「特別研修」とは

「司法書士特別研修」は、司法書士が簡裁訴訟代理等関係業務を行うにあたって必要な能力を習得することを目的とした、日本司法書士会連合会が実施する研修です。

平成15年4月に改正司法書士法が施行されたことに伴い、所定の研修を修了した司法書士のうち、簡裁訴訟代理等関係業務を行うのに必要な能力を有すると法務大臣が認定した者は、簡易裁判所において一定の訴訟代理行為等（訴訟額140万円以下）を行うことができるとされました。この所定の研修が「特別研修」であり、この研修の課程を修了することが認定審査受験の要件になります。

特別研修は「100時間研修」とも呼ばれ、一方的な講義形式だけでなく、少人数でのゼミナール、受講生による模擬裁判、裁判所の協力を得て実施される実務研修等、実践的な内容となっています。そのため、研修を受けるにあたっては、予め基本的な知識を持った上で臨むことが求められます。

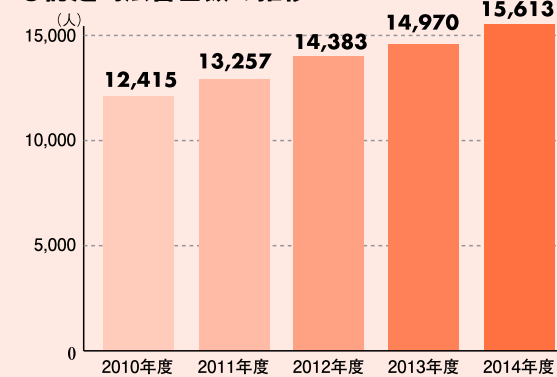


※日本司法書士会連合会実施。なお、ブロック新人研修は各ブロック会によって実施時期が異なります。実施時期は必ず各自で正式発表をご確認ください。

DATA

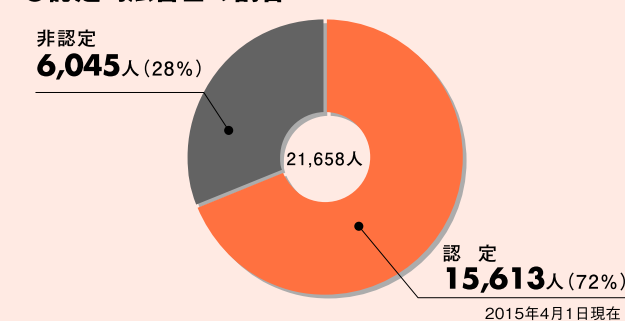
簡易裁判所における訴訟代理や裁判外での和解手続などに司法書士が関わる件数は年々増加しています。不動産登記、商業登記業務に加え、簡裁訴訟代理等関係業務も司法書士の確立された業務になってきており、今や簡裁訴訟代理等能力認定審査に合格し、認定司法書士となることが今後活躍の場を拓けるためにも必要になってくると言えます。

●認定司法書士数の推移

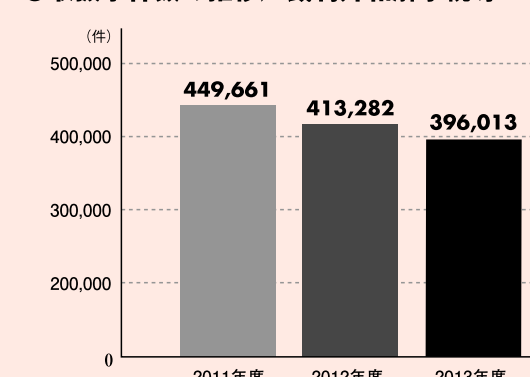


◎参考：司法書士白書 2012年版、日本司法書士会連合会ホームページ
※年度により基準日は異なります。

●認定司法書士の割合



●取扱事件数の推移／裁判外和解手続等

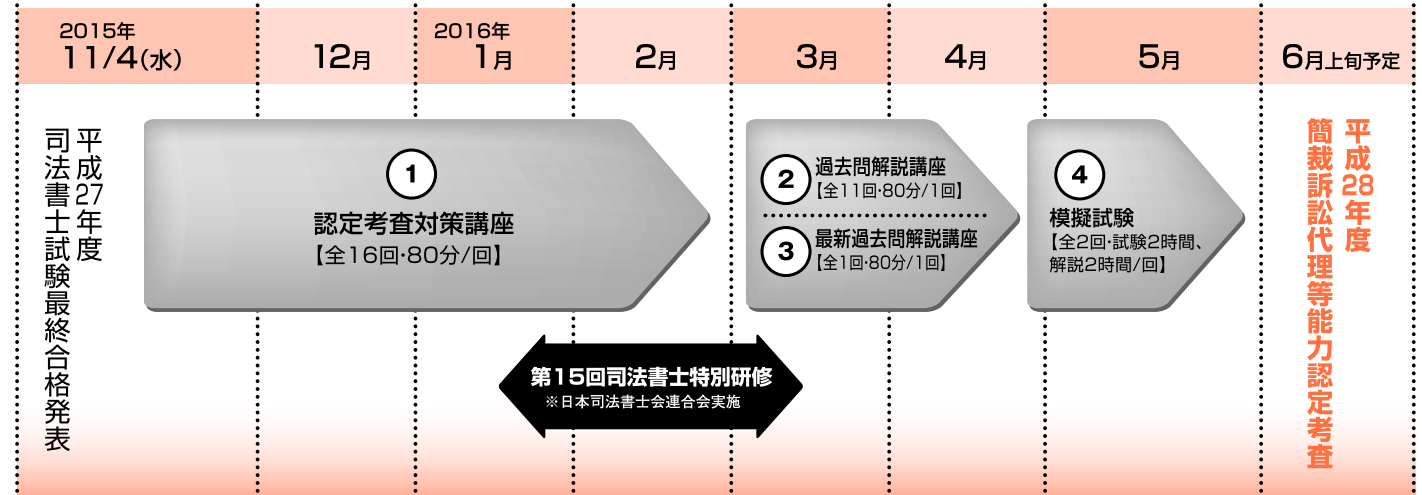


◎参考：日本司法書士会連合会ホームページ

カリキュラムがさらに充実!

「簡裁訴訟代理等能力認定審査」対策講座

❖ カリキュラム



① 認定審査対策講座 全16回 特別研修に余裕をもって臨み、認定審査をクリアするための実践的な知識を習得! 特別研修に余裕をもって臨んでいただけるように、最低限理解しておくべき民事訴訟法の基本原則を平易に解説。また、特別研修の理解を深め認定審査をクリアしていただくためのより実践的な事柄について解説します。 ※2015年度向けに収録したものと同内容になります。予めご了承ください。	② 過去問解説講座 全11回 過去問から導きだされる重要論点を徹底解説! 過去に出題された審査問題の中の重要論点を解説します。また本試験解説にとどめず、前提問題、関連問題、派生問題および応用問題等、当該問題の類似問題まで言及します。 ※2015年度向けに収録したものと同内容になります。予めご了承ください。	③ 最新過去問解説講座 全1回 最新過去問(2015年度)の重要論点を徹底解説! 2015年度第14回認定審査の最新問題を徹底解説しております。	④ 模擬試験 全2回 的中多数!本試験のシミュレーションで合格を確実に! 本試験前の模擬試験を実施します。丁寧な添削と徹底解説で総仕上げを行います。
--	---	---	---

※各講座とも、教材はオリジナルレジュメを使用いたします(教材費は受講料に含まれます)。

❖ 開講コース一覧

コース名	回数	個別DVD講座 札幌校・仙台校・水道橋校・新宿校・池袋校・渋谷校・八重洲校・立川校・町田校・横浜校・大宮校・津田沼校・名古屋校・京都校・梅田校・なんば校・神戸校・広島校・福岡校	DVD通信講座 Web通信講座 (発送開始日)	Web通信講座 (配信開始日)
認定審査対策バック (①認定審査対策講座+②過去問解説講座+③最新過去問解説講座+④模擬試験)	全30回	15. 11/5(木)～視聴開始	15. 11/2(月)～教材発送開始	15. 11/5(木)～講義配信開始
認定審査対策講座(上記①)	全16回	11/5(木)～視聴開始	11/2(月)～教材発送開始	11/5(木)～講義配信開始
過去問解説講座+最新過去問解説講座+模擬試験(上記②+③+④)	全14回	16. 3/3(木)～視聴開始	16. 3/1(火)～教材発送開始	16. 3/3(木)～講義配信開始
最新過去問解説講座+模擬試験(上記③+④)	全3回	3/3(木)～視聴開始	3/1(火)～教材発送開始	3/3(木)～講義配信開始

◎「認定審査対策講座」「過去問解説講座」は、個別DVD講座、DVD通信講座の場合、DVD1枚につき2回分収録しております。特に、個別DVD講座ではTAC各校個別DVDルームにて2回ずつのご視聴となりますので予めご了承ください。「最新過去問解説講座」は全1回をDVD1枚に収録しております。

※個別DVD講座については、上記TAC直営校のほか、TAC提携校でも開講している校舎がございます。詳細は直接提携校へお問い合わせください。

❖ 合格体験記

小山先生の模擬試験が、まさに的中!



平成27年度簡裁訴訟代理等能力認定審査 認定

浅野祐子さん

私は、昨年司法書士試験に合格した際、特別研修、認定審査に対して漠然とした不安があったので、特別研修前に認定審査バックを受講することにしました。この講座のおかげで研修前の不安を払拭でき、研修内容を理解するのに非常に助かりました。試験対策は、過去問対策講座を中心に、請求原因や抗弁をノートにまとめたりしました。簡裁代理権の範囲と倫理については、原稿用紙を使用して過去問を解きました。小山先生は特別研修のチューターをなさっていて、受講生のレベルと特別研修の内容、認定審査で問われる内容を熟知なさっています。ですから講座では的確に、勉強方法、答案を書くポイントもアドバイスしてくださいます。

当日の試験では小山先生の模擬試験が、まさに的中でした。特別研修の内容が認定審査にそのまま直結するとは限らないので、認定審査のための勉強は必要です。私はこの講座のおかげで落ち着いて認定審査を受験でき、合格できたと思います。受講して本当に良かったと思っています。

❖ 日程表

カリキュラム	実施内容	個別DVD講座 (視聴開始日)	DVD通信講座・Web通信講座 (教材発送開始日)	Web通信講座・Web・音声DLフォロー (講義配信開始日)
① 認定審査対策講座 全16回・80分/回	1 第一審訴訟手続の基礎理論 (その1)	15. 11/5(木)	15. 11/2(月)	15. 11/5(木)
	2 第一審訴訟手続の基礎理論 (その2)			
	3 立証に関する基礎理論 (その1)			
	4 立証に関する基礎理論 (その2)			
	5 売買代金請求事件			
	6 売買の目的物の引渡請求事件、送達			
	7 貸金請求事件			
	8 保証債務履行請求事件			
	9 建物明渡請求事件(賃貸借) (その1)	12/17(木)	12/14(月)	12/17(木)
	10 建物明渡請求事件(賃貸借) (その2)			
	11 建物明渡請求事件(所有権)			
	12 動産引渡請求事件、権利自由			
	13 訴状の起案 (事例)			
	14 答弁書の起案 (事例)			
	15 簡裁代理権の範囲			
	16 司法書士倫理			
② 過去問解説講座 全11回・80分/回	1 貸金請求事件/第2回認定審査	16. 3/3(木)	16. 3/1(火)	16. 3/3(木)
	2 保証債務履行請求事件/第7回認定審査			
	3 売買代金請求事件/第1、第4回認定審査			
	4 売買代金請求事件/第13回認定審査			
	5 建物明渡請求事件 (1) / 第3回認定審査			
	6 建物明渡請求事件 (2) / 第5、第10回認定審査			
	7 請負代金請求事件/第9回認定審査			
	8 譲受債権請求事件/第11回認定審査			
	9 抵当権抹消登記請求事件/第8回認定審査			
	10 損害賠償請求事件/第12回認定審査			
	11 動産の引渡請求事件/第6回認定審査			
③ 最新過去問解説講座 全1回・80分/回	1 建物明渡請求事件/第14回認定審査	3/3(木)	16. 3/1(火)	3/3(木)

※①、②のDVD教材は、講義2コマ分が、1枚のDVDに収録されております。
※Web通信講座・Webフォロー・音声DLフォローの配信は、2016年6月30日までです。

カリキュラム	実施内容	個別DVD講座 (スケジュール)	DVD通信講座・Web通信講座 Web・音声DLフォロー (スケジュール)
④ 模擬試験 全2回・試験2時間、 解説2時間/回	第1回模擬試験	問題配付開始日：16.4/15(金) 答案締切日：16.4/28(木) ※登録校舎受付窓口へ提出 答案返却日：16.5/9(月) ※TACより発送	問題発送日：16.4/13(水) 答案締切日：16.4/28(木) 解答解説発送日：16.4/28(木) 答案返却日：16.5/9(月) ※TACより発送
		解説講義視聴開始日：16.4/28(木)	解説講義配信開始日：16.4/28(木)
	第2回模擬試験	問題配付開始日：16.4/22(金) 答案締切日：16.5/6(金) ※登録校舎受付窓口へ提出 答案返却日：16.5/13(金) ※TACより発送	問題発送日：16.4/13(水) 答案締切日：16.5/6(金) 解答解説発送日：16.5/6(金) 答案返却日：16.5/13(金) ※TACより発送
		模擬試験解説講義	解説講義視聴開始日：16.5/6(金) 解説講義配信開始日：16.5/6(金)

※Web通信講座・Webフォロー・音声DLフォローの配信は、2016年6月30日までです。

受講料についてはP6をご覧ください

W セミナー 受講生割引特典 認定審査対策講座が割引受講料で申込み! ※詳細はP6をご覧ください。

小山先生の講義を取り、10回繰り返す。これで受かります!



平成27年度簡裁訴訟代理等能力認定審査 認定

山口友子さん

特別研修後、県の配属研修が終わった4月中旬から対策講座を受けました。特別研修中は、目の前の課題に追われる日々でしたので、この対策講座で研修の復習ができました。とは言っても、1回2回聞いて理解できる頭ではないので、何度も何度も繰り返し聞き直しました。

「つべこべ言わず10回やる」この先生の言葉を信じ、わからないながらも、先生のものの考え方をなぞれるよう、一言一句に注意を払い、繰り返し繰り返し聞きました。

次に、過去問解説講座が待っています。これで、過去の問題すべての解説が受けられます。これも10回。ここまでやると、問題形式にも慣れ、小山先生の講義について行けたという自信も湧いてくるので、あと一息がんばれます。

最後に模試です。ここで出題された問題が試験当日に出ました。対策講座の中でも先生が今年出るだろうと言っていたのですが、本当に出たのでびっくりしました。小山先生の講義を取り、10回繰り返す。これで受かります。また、私のように理解するのに時間がかかる人で、受講のスタートも遅い場合は、研修から審査まで動かなくても生きていける環境にあるなら勉強に集中したほうがいいのかな、とも思います。

オプション講座で基礎を盤石に！

合格者向け 弱点克服講座〈民訴等セット〉〈民訴・民保編〉



司法書士・Wセミナー専任講師

こやま ひろし
小山 弘 講師

民訴系科目を中心に講座を担当。実務では、裁判事務のエキスパートとして活躍中。
実務経験をもとにした設例を用いた講義で、受験生の“考える力”を養い、合格へと導く。

学習メディア

■個別DVD講座 ■DVD通信講座
■Web通信講座

司法書士試験の民訴等科目では、条文、重要判例及び教科書レベルの基礎知識が「広く浅く」出題されました。そのため、民訴等科目の対策は、講座の受講と過去問を解くことで対応できたといえました。しかし、司法書士試験合格後は、実務に向けての研修が開始します。研修は、登記関連はもちろん、多様の分野について実施されますが、受験時代に取り組んだ択一式や書式の勉強だけでは通用しません。とりわけ、裁判事務関係の研修では、民法や民事訴訟法等についての基礎知識を基に、実務上のノウハウ等を修得しなければなりません。つまり、受験時代は「知識があれば正解に達することができました」が、実務研修では「知識に基づいて実務をこなすための素養」を積みなければなりません。

以上のとおり、実務に向けた研修では各科目の基礎知識を必要としますが、司法書士試験において民訴等科目はマイナー科目であったことから、「理解」よりも「暗記」を優先し、合格後も苦手意識を持ち続けている方が少なくありません。実務研修に自信をもって臨むためには、民訴、執行及び保全法について体系的な勉強をすることが有益です。この講座は司法書士試験対策の中上級コース「弱点克服講座」の民訴等科目部分ですが、実務研修や認定考查の対策としても大変役立つ内容です。受講していただけると、その意味がご理解いただけることと思います。一人でも多くの方が実務研修で通用する基礎知識及び思考力をつけて研修に臨まれますよう願っています。

この講座は、「認定考查対策バック」「認定考查対策講座」を申し込まれた方のみお申込みいただけます。

❖日程表

回数	民訴等セット（民訴・民執・民保）	3時間/回	個別DVD講座、Web通信講座 Web・音声DLフォロー	DVD通信講座 Web通信講座	DVD通信講座
	実施内容		視聴・配信開始日	資料教材発送開始日	DVD教材発送開始日
1	民訴・民執・民保の全体構造、訴訟の主体		’15 10/ 9(金)		’15 11/6(金)
2	訴訟の客体（訴え、訴訟上の請求、訴訟物、申立事項と判決事項）、訴えの提起		10/16(金)		
3	訴訟の審理（弁論主義、送達、口頭弁論、欠席手続）		10/23(金)		
4	訴訟の審理（証拠、訴訟手続の停止）		10/30(金)		
5	訴訟の終了		11/ 6(金)		
6	判決の効力、複数請求訴訟		11/13(金)	’15 10/6(火)	12/4(金)
7	多数当事者訴訟、上訴		11/20(金)		
8	簡易裁判所の特則、手形訴訟		11/27(金)		
9	民事執行法の総論		12/ 4(金)		
10	不動産執行、動産執行		12/11(金)		
11	債権執行、非金銭執行、担保権の実行、形式的競売、財産開示手続		12/18(金)		’16 1/15(金)
12	民事保全、保全命令に関する手続		12/25(金)		
13	保全執行に関する手続		’16 1/ 8(金)		

※Web通信講座・Webフォロー・音声DLフォローの配信は、2016年6月30日までです。

回数	民訴・民保編 3時間/回	個別DVD講座、Web通信講座 Web・音声DLフォロー	DVD通信講座 Web通信講座	DVD通信講座
	実施内容	視聴・配信開始日	資料教材発送開始日	DVD教材発送開始日
1	民訴・民執・民保の全体構造、訴訟の主体	'15 10/ 9(金)	'15 10/6(火)	'15 11/6(金)
2	訴訟の客体（訴え、訴訟上の請求、訴訟物、申立事項と判決事項）、訴えの提起	10/16(金)		
3	訴訟の審理（弁論主義、送達、口頭弁論、欠席手続）	10/23(金)		
4	訴訟の審理（証拠、訴訟手続の停止）	10/30(金)		
5	訴訟の終了	11/ 6(金)		12/4(金)
6	判決の効力、複数請求訴訟	11/13(金)		
7	多数当事者訴訟、上訴	11/20(金)		
8	簡易裁判所の特則、手形訴訟	11/27(金)		
9	民事執行法の総論	民訴・民保編には含まれません。		
10	不動産執行、動産執行			
11	債権執行、非金銭執行、担保権の実行、形式的競売、財産開示手続			
12	民事保全、保全命令に関する手続	12/25(金)	'15 10/6 (火)	'16 1/15 (金)
13	保全執行に関する手続	'16 1/ 8(金)		

注：弱点克服講座の回数表記は全科目通算の回数を記載しております。第9回～第11回については民事執行法となりますので、「民訴・民保編（全10回）」をお申込みの方は、第9回～第11回の講義は「受講対象外」となります。そのため、「第8回」から「第12回」へ回数表記が飛んでおります。ご了承ください。

※Web通信講座・Webフォロー・音声DLフォローの配信は、2016年6月30日までです。

【DVD通信講座・Web通信講座 資料教材発送内容】

・受講ガイド ・弱点克服講座 オリジナルテキスト（レジュメ） ・弱点克服講座 確認テスト ・弱点克服講座 復習シート ・弱点克服講座 図表集

受講料についてはP6をご覧ください

※個別DVD講座については、上記TAC直営校のほか、TAC提携校でも開講している校舎がございます。詳細は直接提携校へお問い合わせください。

❖使用テキスト 小山弘講師特製 オリジナルテキスト

徹底的に
知識の定着を促す
レジュメをご提供！



復習シート

復習シートは、講義内容を自分の言葉でまとめるシートで、知識の定着を図ることができます。問題の正誤に終始しがちな学習方法から、自分の言葉で書くという方法に切り替えることで、理解度が深まります。



※教材費は受講料に含まれております。別途ご購入の必要はありません。

確認テスト

各回で講義内容の確認テストを行います。一問一答形式、会話形式など様々な問題をご用意。講義進度に合わせ着実に理解できるように工夫されています。

選べる3つの学習メディア

個別DVD講座 通学

自分のスケジュールに合わせた学習が可能！

通信だと学習のリズムが掴めない、学習がはかどらないという方におすすめの通学講座です。自分のスケジュールに合わせた学習計画を立てられます。

【DVDブース利用時間】 ① 9:30～12:30 ② 12:30～15:30 ③ 15:30～18:30 ④ 18:30～21:30
※日曜日は④の時間帯はございません。

DVD通信講座 通信

講義映像を自宅で再現！

講義を収録したDVDをご自宅などにお送りし、学習していただくスタイルです。忙しい方、遠隔地に住んでいてTACに通えない方におすすめの講座です。

※DVD-Rメディア対応のDVDプレーヤーでのみ受講が可能です。パソコン・ゲーム機等での動作保証はいたしておりません。

Web通信講座 通信

いつでもどこでも学習可能！

インターネットを利用してパソコンで学習していただくスタイルです。講義映像をストリーミング配信しています。24時間いつでも臨場感あふれる講義を受講できます。

視聴環境を必ずご確認ください

お申込み前に必ず、TACホームページ内「TAC WEB SCHOOL」の「動作環境・無料体験版」にて動作をご確認ください。

<http://portal.tac-school.co.jp/>

受講料一覧（2015年9月30日16:00より申込受付開始）

【通常受講料】

コース名	通常受講料	コースNo.	クラスNo.															
			個別DVD講座															
			札幌	仙台	水道橋	新宿	池袋	渋谷	八重洲	立川	町田	横浜	大宮	津田沼	名古屋	京都	梅田	なんば
認定考查対策バック	¥84,000	162-011	K0	J0	20	G0	30	L0	F0	M0	A0	40	C0	V0	50	60	70	B0
認定考查対策講座	¥51,000	162-012	K0	J0	20	G0	30	L0	F0	M0	A0	40	C0	V0	50	60	70	B0
過去問解説講座+最新過去問解説講座+模擬試験	¥50,000	162-013	K0	J0	20	G0	30	L0	F0	M0	A0	40	C0	V0	50	60	70	B0
最新過去問解説講座+模擬試験 ◆	¥21,000	162-014	K0	J0	20	G0	30	L0	F0	M0	A0	40	C0	V0	50	60	70	B0
合格者向け 弱点克服講座（民訴等セット）（注）	¥50,000	162-015	K0	J0	20	G0	30	L0	F0	M0	A0	40	C0	V0	50	60	70	B0
合格者向け 弱点克服講座（民訴・民保編）（注）	¥40,000	162-016	K0	J0	20	G0	30	L0	F0	M0	A0	40	C0	V0	50	60	70	B0

通信メディア DVD通信講座・Web通信講座 音声DL標準装備

コース名	DVD通信講座			Web通信講座		
	通常受講料	コースNo.	クラスNo.	通常受講料	コースNo.	クラスNo.
認定考查対策バック	¥89,000	162-021	96	¥75,000	162-031	W4
認定考查対策講座	¥58,000	162-022	96	¥47,000	162-032	W4
過去問解説講座+最新過去問解説講座+模擬試験	¥54,000	162-023	96	¥46,000	162-033	W4
最新過去問解説講座+模擬試験 ◆	¥23,000	162-024	96	¥19,000	162-034	W4
合格者向け 弱点克服講座（民訴等セット）（注）	¥54,000	162-025	96	¥46,000	162-035	W4
合格者向け 弱点克服講座（民訴・民保編）（注）	¥44,000	162-026	96	¥36,000	162-036	W4

【受講生割引特典】 対象のWセミナー司法書士講座を受講されている方は、「認定考查対策バック」および「合格者向け弱点克服講座（民訴等セット）」を割引受講料でお申込みいただけます。

受講生割引特典

認定考查対策講座が割引受講料で申込める！

下記の対象講座を受講されていた方は、「**認定考查対策バック**」および「**弱点克服講座（民訴等セット）**」を**割引受講料**でお申込みいただけます。

対象講座
2015年目標限定

初 学 者 コー ス：20ヵ月(総合)本科生(プラス)/1.5年(総合)本科生(プラス)
1年(総合)本科生(プラス)/10ヵ月速修(総合)本科生(プラス)/8ヵ月速修(総合)本科生(プラス)

中 上 級 コー ス：山本プレミアム上級本科生、竹下合格上級本科生、上級総合本科生/上級本科生
早稲田合格答練：答練総合本科生、答練本科生、1月答練バックA記述対策プラス

※対象の方はお申込み手続の際に、該当コースの会員証をご提示ください（郵送の場合は申込書にコピーを添付）。

※受講生割引特典をご利用の場合、「奨学生選抜試験」の受講料割引券はご利用いただけません。

充実のフォロー制度

※フォロー制度は会員登録の有効期限内でのご利用が可能です。
※TAC提携校での各種サービス等はTAC直営校と異なる場合がございます。詳しくは各TAC提携校に直接お問い合わせください。

Follow Webフォロー

対象講座：

インターネット上で、収録した講義をご視聴いただけます。受講期間内であれば、何度でも視聴することができ、復習用として大活躍します。

Follow 音声DL（ダウンロード）フォロー

対象講座：

収録した講義の音声ダウンロードできます。iPod®などのポータブルデジタルオーディオプレーヤーにデータを移せばいつでもどこでも学習できます。

※iPod®は、Apple,Inc.の商標です。

●注意事項

※Webフォローおよび音声DLフォローのご利用にあたっては、お申込み前に必ずTACホームページ内「TAC WEB SCHOOL」の「動作環境・無料体験版」にて動作をご確認ください。

<http://portal.tac-school.co.jp/>

自習室

対象講座：

講義の行われていない各校舎の教室を自習室として開放しています。全国のTACの教室を自由に利用できます。予約も不要です。

※教室の使用状況によっては自習室として開放できない場合がございます。予めご了承ください。

質問カード

対象講座：

学習に疑問点はつきもの。疑問点は質問カードを利用して質問することができます。講師、スタッフが分かりやすく丁寧にお答えします。

※質問は講義内容および講義で使用する教材に関するものに限らせていただきます。